

教育課程編成会議①

ブックトークをします～「ケーキの切れない非行少年たち」

2019. 11. 18

No. 81

校長 渡邊 幸二

学校課題解決に向け、来年度、どんな教育活動を展開していくかを話し合うのがこの会議です。その1回目ですので、私からの来年度の学校経営について述べさせていただきます。また、今後、どのようにしてみなさんの思いをカリキュラムに載せていくのか、その提案もあると思います。

キーワード①～浜田ブランドが持続可能となるために

以前マイスターが校長としてかじを取り、そしてH先生が研究主任を務め、森田先生も指導に訪れていた小学校があります。しかし、聞くところによると、現在、その小学校で「学びの共同体」としての授業改善は行われていないという話でした。非常にもったいないと私は思います。もし、そのまま学校づくりの営みが、授業改善の方向が引き継がれていたら、きっとその小学校が庄内の、もしかすると山形県のパイロットスクールになっていただろうと想像します。

日本には神奈川県「茅ヶ崎市立浜之郷小学校」や富山県「富山市立堀川小学校」のように、何年も研究が引き継がれ、素晴らしい学校を創り上げているところがあります。今、浜田小学校で行われている研究も、おそらく2年や3年で成果が表れてくるものではないと思っています。もちろんちょっとした成長を感じたり、授業が改善されてきたりしているなんてことは見えてくるでしょう。しかし、教育はもっと長い目で見る必要があります。

せっかく動き出した浜田小学校ですが、教職員の人事異動により先生方は年々代わっていきます。それでも脈々と研究が継続され、浜田小学校という組織が一つの大きな命を育んだ存在なれば、第二の浜之郷、堀川小になるのだと思うのです。来年度浜田小に残るみなさんには、そんな気概を持って学校経営に参画することを望みます。

キーワード②～浜田っ子の認知機能を高めるために

先月、J.S先生から紹介された『ケーキの切れない非行少年たち』を読み、衝撃を受けました。学校だよりに書いたように、これは非行少年の話ではなく、私たちの目の前にいる浜田っ子の話だと思いました。そこで、次のようにプロジェクトを進めます。

(1) ブックトーク

できれば2学期中にブックトークをして、研修を深めます。各自本を購入の上ブックトークに備えてください。まとめて購入を希望する方は教務主任へ伝えてください。

(2) 教育課程に

来年度、できればこの3学期から、この本に載っているトレーニングを開始します。詳細はR先生にも入ってもらい検討していきます。なお、そのトレーニングに関する書籍をR先生が持っていてもらいます。興味のある方は頼んでみてください。

